

本科 2 期 9 月度

解答

Z会東大進学教室

高 2 難関大数学 K



1 4 章 数列 (1) - 等差数列・等比数列 -

問題

【1】 求める数列の初項を a , 公差を d , 一般項を a_n , 初項から第 n 項までの和を S_n とおく.

(1) 一般項 a_n は

$$\begin{aligned} a_n &= a + (n-1) \cdot 2 \\ &= 2n + a - 2 \quad \cdots (*) \end{aligned}$$

$a_5 = 7$ より

$$\begin{aligned} a_5 &= 2 \cdot 5 + a - 2 = 7 \\ \therefore a &= -1 \end{aligned}$$

ゆえに (*) より求める一般項は $a_n = 2n - 3$ (答)

和は

$$\begin{aligned} S_n &= \frac{1}{2}n(-1 + 2n - 3) \\ &= n(n - 2) \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

(2) 条件より

$$\begin{aligned} S_5 &= \frac{1}{2} \cdot 5 \cdot (a + a_5) \\ &= \frac{5}{2}(2a + 4d) = 20 \\ \therefore a + 2d &= 4 \quad \cdots \textcircled{1} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} S_{10} &= \frac{1}{2} \cdot 10 \cdot (a + a_{10}) \\ &= 5(2a + 9d) = -10 \\ \therefore 2a + 9d &= -2 \quad \cdots \textcircled{2} \end{aligned}$$

① $\times 2 -$ ② より

$$-5d = 10 \quad \therefore d = -2$$

① に代入して

$$a = 4 - 2 \cdot (-2) = 8$$

よって求める一般項は

$$a_n = 8 + (n-1) \cdot (-2) = -2n + 10 \quad (\text{答})$$

和は

$$\begin{aligned} S_n &= \frac{1}{2}n\{8 + (-2n + 10)\} \\ &= n(9 - n) \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

(3) 条件より

$$a_5 = a + 4d = 7 \quad \dots \textcircled{1}$$

また第5項から第10項までの和を T とすると、 T は初項 a_5 、末項 a_{10} 、公差 d 、項数 $10 - 5 + 1 = 6$ の等差数列の和であるから

$$\begin{aligned} T &= \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot (a_5 + a_{10}) \\ &= 3(7 + a + 9d) = 27 \quad (\because a_5 = 7) \\ \therefore a + 9d &= 2 \quad \dots \textcircled{2} \end{aligned}$$

① - ② より

$$-5d = 5 \quad \therefore d = -1$$

① に代入して

$$a = 7 - 4d = 7 - 4 \cdot (-1) = 11$$

ゆえに求める一般項は

$$a_n = 11 + (n - 1) \cdot (-1) = -n + 12 \quad (\text{答})$$

和は

$$\begin{aligned} S_n &= \frac{1}{2}n \{11 + (-n + 12)\} \\ &= \frac{1}{2}n(23 - n) \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

【2】 求める数列の初項を a 、公比を r 、一般項を a_n 、初項から第 n 項までの和を S_n とする.

(1) 条件より

$$S_5 = \frac{a \{1 - (-2)^5\}}{1 - (-2)} = 33$$

ゆえに

$$a(1 + 32) = 3 \cdot 33$$

$$\therefore a = 3$$

よって一般項は

$$a_n = 3 \cdot (-2)^{n-1} \quad (\text{答})$$

また和は

$$S_n = \frac{3 \{1 - (-2)^n\}}{1 - (-2)} = 1 - (-2)^n \quad (\text{答})$$

(2) 条件より

$$a_3 = a \cdot r^2 = 18 \quad \dots \textcircled{1}$$

$$a_5 = a \cdot r^4 = 162 \quad \dots \textcircled{2}$$

② ÷ ① より

$$r^2 = 9 \quad \therefore r = \pm 3$$

① に代入して $a = 2$.

(i) $r = 3$ のとき. 一般項は

$$a_n = 2 \cdot 3^{n-1} \quad (\text{答})$$

和は

$$S_n = \frac{2(3^n - 1)}{3 - 1} = 3^n - 1 \quad (\text{答})$$

(ii) $r = -3$ のとき. 一般項は

$$a_n = 2 \cdot (-3)^{n-1} \quad (\text{答})$$

和は

$$S_n = \frac{2 \{1 - (-3)^n\}}{1 - (-3)} = \frac{1}{2} \{1 - (-3)^n\} \quad (\text{答})$$

(3) 条件より

$$a_2 = ar = -52 \quad \dots \textcircled{1}$$

よって $r \neq 0$. また $r = 1$ とすると

$$S_3 = 3 \cdot a_2 = -156 \neq 169$$

ゆえに $r \neq 1$. よって

$$S_3 = \frac{a(1-r^3)}{1-r} = a(1+r+r^2) = 169 \quad \dots \textcircled{2}$$

① より $a = -\frac{52}{r}$. ② に代入して

$$\begin{aligned} -\frac{52}{r}(1+r+r^2) &= 169 \\ 4r^2 + 4r + 4 &= -13r \\ 4r^2 + 17r + 4 &= 0 \\ (r+4)(4r+1) &= 0 \\ r &= -4, \quad -\frac{1}{4} \end{aligned}$$

よって

(i) $r = -4$ のとき.

① より $a = 13$. 一般項は

$$a_n = 13 \cdot (-4)^{n-1} \quad (\text{答})$$

和は

$$S_n = \frac{13 \{1 - (-4)^n\}}{1 - (-4)} = \frac{13}{5} \{1 - (-4)^n\} \quad (\text{答})$$

(ii) $r = -\frac{1}{4}$ のとき.

① より $a = 208$. 一般項は

$$a_n = 208 \cdot \left(-\frac{1}{4}\right)^{n-1} \quad (\text{答})$$

和は

$$S_n = \frac{208 \{1 - (-\frac{1}{4})^n\}}{1 - (-\frac{1}{4})} = \frac{832}{5} \left\{1 - \left(-\frac{1}{4}\right)^n\right\} \quad (\text{答})$$

【3】 (1) 3つの数を $a-d$, a , $a+d$ とすると, これらの和が 21 であるから

$$(a-d) + a + (a+d) = 21 \quad \therefore a = 7$$

また平方の和が 179 であるから

$$(a-d)^2 + a^2 + (a+d)^2 = 179$$

$$3a^2 + 2d^2 = 179$$

$$2d^2 = 179 - 3 \cdot 7^2 = 32$$

$$d^2 = 16$$

$$d = \pm 4$$

ゆえにいずれの場合も, 求める 3 数は

$$\mathbf{3, 7, 11} \quad (\text{答})$$

(2) 3つの数を $\frac{a}{r}$, a , ar とすると, 積が -1728 であるから

$$\frac{a}{r} \cdot a \cdot ar = -1728$$

$$a^3 = -1728 = -2^6 \cdot 3^3$$

$$\therefore a = -12$$

また和が 18 であるから

$$\frac{a}{r} + a + ar = 18$$

$$-12 \cdot \left(\frac{1}{r} + 1 + r \right) = 18$$

$$2r^2 + 5r + 2 = 0$$

$$(2r+1)(r+2) = 0$$

$$r = -\frac{1}{2}, -2$$

ゆえにいずれの場合も, 求める 3 数は

$$\mathbf{6, -12, 24} \quad (\text{答})$$

【4】 1 から 100 までの自然数の和は、初項 1，公差 1，末項 100，項数 100 の等差数列の和であるから

$$\frac{100}{2} \times (1 + 100) = 5050$$

(1) 4 で割り切れる数は

$$4 \times 1, 4 \times 2, 4 \times 3, \dots, 4 \times 25$$

であり、その和は、初項 4，公差 4，末項 100，項数 25 の等差数列の和だから

$$\frac{25}{2} \times (4 + 100) = \mathbf{1300} \quad (\text{答})$$

(2) 6 で割り切れる数は

$$6 \times 1, 6 \times 2, 6 \times 3, \dots, 6 \times 16$$

であり、その和は、初項 6，公差 6，末項 96，項数 16 の等差数列の和と考えて

$$\frac{16}{2} \times (6 + 96) = 816$$

よって、6 で割り切れない数の和は

$$5050 - 816 = \mathbf{4234} \quad (\text{答})$$

(3) 4 で割り切れる数、6 で割り切れる数にともに含まれる数は、

$$12 \times 1, 12 \times 2, 12 \times 3, \dots, 12 \times 8$$

であり、その和は、初項 12，公差 12，末項 96，項数 8 の等差数列の和と考えて

$$\frac{8}{2} \times (12 + 96) = 432$$

これと、(1)(2) の結果より、4 または 6 で割り切れる数の総和は

$$1300 + 816 - 432 = 1684$$

以上より、4 でも 6 でも割り切れない数の総和は

$$5050 - 1684 = \mathbf{3366} \quad (\text{答})$$

【5】(1) 数列 $\{a_n\}$ の初項を a 、公差を d とすると、条件より

$$a_{10} = a + 9d = 30 \quad \dots \textcircled{1}$$

また

$$\begin{aligned} S_5 &= \frac{1}{2} \cdot 5 \cdot (a_1 + a_5) = 220 \\ \therefore a + 2d &= 44 \quad \dots \textcircled{2} \end{aligned}$$

① - ② より

$$7d = -14 \quad \therefore d = -2$$

② に代入して

$$a = 44 - 2 \cdot (-2) = 48$$

ゆえに求める一般項は

$$a_n = 48 + (n - 1) \cdot (-2) = -2n + 50 \quad (\text{答})$$

(2) 不等式

$$a_n \geq 0$$

を解くと

$$-2n + 50 \geq 0 \quad \therefore n \leq 25$$

ゆえに、公差 $d = -2 < 0$ であることを考えると

$$a_1 > a_2 > \dots > a_{24} > a_{25} = 0 > a_{26} > \dots$$

であるから、 S_n が最大になるのは

$$n = 24 \text{ または } n = 25 \quad (\text{答})$$

のとき、求める最大値は

$$\begin{aligned} S_{24} &= S_{25} = \frac{1}{2} \cdot 25 \cdot (a_1 + a_{25}) \\ &= \frac{1}{2} \cdot 25 \cdot 48 \\ &= 600 \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

(3) 求める和は、初項 48、公差 $2d = -4$ 、項数 50 の等差数列の和である。第 50 項は

$$48 + (50 - 1) \cdot (-4) = -148$$

であるから、求める和を S_n とすると

$$S_n = \frac{50}{2} \cdot \{48 + (-148)\} = -2500 \quad (\text{答})$$

【6】初項 3, 公比 2 の等比数列の一般項は

$$3 \cdot 2^{n-1}$$

であるから,

$$3 \cdot 2^{n-1} > 1500$$

となる最小の整数 n を求める. これを整理すると

$$2^{n-1} > 500$$

となり, $2^8 = 256$, $2^9 = 512$ であるから

$$n - 1 \geq 9 \quad \therefore \quad n \geq 10$$

よって, 第 10 項 ではじめて 1500 を超える. (答)

【7】初項 2, 公比 2 の等比数列の第 n 項までの和 S_n は

$$S_n = \frac{2 \cdot (2^n - 1)}{2 - 1} = 2^{n+1} - 2$$

であるから

$$2^{n+1} - 2 > 510$$

をみたす最小の整数 n を求める.

$$2^{n+1} > 512 = 2^9$$

$$n + 1 > 9$$

$$n > 8$$

よって, 求める n は,

$$9 \quad (\text{答})$$

- 【8】 毎年はじめの積み立て額を x 円、年利率を r ($0 < r < 1$) とする。
 それぞれの年の積み立て額に対して、 n 年後の金額は表のようになる。

1 年後	2 年後	⋯	$(n-2)$ 年後	$(n-1)$ 年後	n 年後	
x	$x(1+r)$	$x(1+r)^2$	⋯	$x(1+r)^{n-2}$	$x(1+r)^{n-1}$	$x(1+r)^n$
	x	$x(1+r)$	⋯	$x(1+r)^{n-3}$	$x(1+r)^{n-2}$	$x(1+r)^{n-1}$
		x	⋯	$x(1+r)^{n-4}$	$x(1+r)^{n-3}$	$x(1+r)^{n-2}$
		⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
		⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
		⋮	x	$x(1+r)$	$x(1+r)^2$	$x(1+r)^2$
				x	$x(1+r)$	$x(1+r)$

n 年後の元利合計 S_n は、初項 $x(1+r)$ 、公比 $1+r$ の等比数列の初項から第 n 項までの和であるから、

$$\begin{aligned}
 S_n &= \frac{x(1+r)\{(1+r)^n - 1\}}{(1+r) - 1} \\
 &= \frac{x(1+r)\{(1+r)^n - 1\}}{r}
 \end{aligned}$$

である。

ここで $r = 0.04$ 、 $n = 10$ とすると 10 年後の元利合計額は

$$\begin{aligned}
 S_{10} &= \frac{x(1+0.04)\{(1+0.04)^{10} - 1\}}{(1+0.04) - 1} \\
 &= \frac{x \cdot 1.04 \cdot (1.48 - 1)}{0.04} = 12.48x
 \end{aligned}$$

これを 100 万円としたいから

$$\begin{aligned}
 12.48x &= 1000000 \\
 \therefore x &= \frac{1000000}{12.48} = 80128.20 \dots
 \end{aligned}$$

したがって、必要な積み立て額は、

$$\mathbf{80129 \text{ 円}} \quad (\text{答})$$

【9】初項 1, 公差 3 の等差数列を $\{a_n\}$ とすると, 一般項は

$$a_n = 1 + 3(n - 1) = 3n - 2$$

また初項 1, 公差 2 の等差数列を $\{b_n\}$ とすると, 一般項は

$$b_n = 1 + 2(n - 1) = 2n - 1$$

$\{a_n\}$ の第 n 項 a_n と, $\{b_m\}$ の第 m 項 b_m が等しいとすると

$$3n - 2 = 2m - 1$$

$$\therefore 3n = 2m + 1$$

$2m + 1$ は奇数より, n は奇数でなければならない. すなわち k を整数として

$$n = 2k - 1 \quad (k = 1, 2, \dots)$$

とおける.

この k ($k = 1, 2, \dots$) に対して, $\{a_n\}$ と $\{b_m\}$ の共通項 $\{c_k\}$ が決定される.

したがって, $\{c_k\}$ の一般項は

$$c_k = 3 \cdot (2k - 1) - 2 = 6k - 5$$

よって

$$c_n = 6n - 5 \quad (\text{答})$$

■別解

初項 0, 公差 3 の等差数列を $\{A_n\}$ とすると,

$$\{A_n\} : 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, \dots$$

初項 0, 公差 2 の等差数列を $\{B_n\}$ とすると,

$$\{B_n\} : 0, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, \dots$$

その共通項を順に並べたものを $\{C_n\}$ とすると,

$$\{C_n\} : 0, 6, 12, 18, 24, 30, 36, 42, 48, 54, \dots$$

$\{A_n\}$ は 3 の倍数の列, $\{B_n\}$ は 2 の倍数の列であるから, $\{C_n\}$ は 2 と 3 の最小公倍数である 6 の倍数の列である. それぞれの一般項は

$$A_n = 3n - 3, \quad B_n = 2n - 2, \quad C_n = 6n - 6$$

となる.

ここで, $\{a_n\}$, $\{b_n\}$, $\{c_n\}$ は, $\{A_n\}$, $\{B_n\}$, $\{C_n\}$ の各項にそれぞれ 1 ずつ加えた数列であるから, その一般項は

$$a_n = 3n - 2, \quad b_n = 2n - 1, \quad c_n = 6n - 5 \quad (\text{答})$$

【10】等差数列 $\{a_n\}$ の初項を a 、公差を d とすると、条件 (i) より

$$\begin{aligned} |a_1| &= |a_{2k-1}| \\ |a| &= |a + (2k-1-1)d| \\ |a| &= |a + 2(k-1)d| \\ a + 2(k-1)d &= \pm a \\ \therefore (k-1)d &= 0, \quad -a \quad \dots \textcircled{1} \end{aligned}$$

また条件 (ii) より、和を S とすると

$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2}(2k-1)(a_1 + a_{2k-1}) \\ &= (2k-1)\{a + (k-1)d\} = 0 \quad \dots \textcircled{2} \end{aligned}$$

ここで

(I) $(k-1)d = 0$ のとき.

これが k によらず成り立つから $d = 0$. ② に代入して, $a = 0$. ゆえに

$$a_k = 0 + (k-1) \cdot 0 = 0$$

(II) $(k-1)d = -a$ のとき.

これは ② をみたすから

$$a_k = a + (k-1)d = a - a = 0$$

以上より、求める第 k 項は, $a_k = 0$ (答)

【11】(1) 条件より $a_{n+2} = a_n + 4$. ゆえに

$$a_3 = a_1 + 4 = 2 + 4 = \mathbf{6} \quad (\text{答})$$

$$a_4 = a_2 + 4 = 3 + 4 = \mathbf{7} \quad (\text{答})$$

$$a_5 = a_3 + 4 = 6 + 4 = \mathbf{10} \quad (\text{答})$$

$$a_6 = a_4 + 4 = 7 + 4 = \mathbf{11} \quad (\text{答})$$

(2) 数列 $\{a_n\}$ の奇数番目の項は, 初項 2, 公差 4 の等差数列. 偶数番目の項は, 初項 3, 公差 4 の等差数列.

(i) n が奇数, すなわち $n = 2k - 1$ (k は正整数) のとき.

$$n = 2k - 1 \iff k = \frac{n+1}{2}$$

このとき

$$\begin{aligned} a_{2k-1} &= 2 + (k-1) \cdot 4 \\ &= 4k - 2 \\ &= 4 \left(\frac{n+1}{2} \right) - 2 = 2n \end{aligned}$$

(ii) n が偶数, すなわち $n = 2k$ (k は正整数) のとき.

$$n = 2k \iff k = \frac{n}{2}$$

このとき

$$\begin{aligned} a_{2k} &= 3 + (k-1) \cdot 4 \\ &= 4k - 1 \\ &= 4 \left(\frac{n}{2} \right) - 1 = 2n - 1 \end{aligned}$$

以上より,

$$a_n = \begin{cases} \mathbf{2n} & (n \text{ が奇数のとき}) \\ \mathbf{2n - 1} & (n \text{ が偶数のとき}) \end{cases} \quad (\text{答})$$

(3) 数列 $\{a_n\}$ の, 初項から第 n 項までの和を S_n , 数列 $\{a_{2k-1}\}$ の, 初項から第 $2k-1$ 項までの和を T_k , 数列 $\{a_{2k}\}$ の, 初項から第 $2k$ 項までの和を U_k とおく.

(i) n が奇数のとき, すなわち $n = 2k - 1$ のとき.

$$\begin{aligned} S_n &= T_k + U_{k-1} \\ &= \frac{1}{2} \cdot k \cdot \{2 + (4k-2)\} + \frac{1}{2} \cdot (k-1) \cdot \{3 + 4(k-1) - 1\} \\ &= 2k^2 + (k-1)(2k-1) \\ &= 2 \left(\frac{n+1}{2} \right)^2 + \left(\frac{n+1}{2} - 1 \right) (n+1-1) \\ &= \frac{1}{2} (n^2 + 2n + 1) + \frac{n^2 - n}{2} \\ &= \frac{1}{2} (2n^2 + n + 1) \end{aligned}$$

(ii) n が偶数のとき, すなわち $n = 2k$ のとき.

$$\begin{aligned} S_n &= T_k + U_k \\ &= \frac{1}{2} \cdot k \cdot \{2 + (4k - 2)\} + \frac{1}{2} \cdot k \cdot (3 + 4k - 1) \\ &= 2k^2 + k(2k + 1) \\ &= 2\left(\frac{n}{2}\right)^2 + \frac{n}{2}(n + 1) \\ &= \frac{1}{2}(2n^2 + n) \\ &= \frac{1}{2}n(2n + 1) \end{aligned}$$

以上より, 求める和は

$$S_n = \begin{cases} \frac{1}{2}(2n^2 + n + 1) & (n \text{ が奇数のとき}) \\ \frac{1}{2}n(2n + 1) & (n \text{ が偶数のとき}) \end{cases} \quad (\text{答})$$

【12】 $a_n = pn + q \cdots \textcircled{1}$ より, n を $n + 1$ で置き換えて

$$a_{n+1} = p(n + 1) + q \cdots \textcircled{2}$$

$\textcircled{2} - \textcircled{1}$ より

$$a_{n+1} - a_n = p(n + 1) + q - (pn + q) = p$$

p は定数であるから, 数列 $\{a_n\}$ は公差 p の等差数列である.

[証明終]

<コメント>

等差数列の一般項は, n の 1 次以下の式になる. 逆に, 一般項が n の 1 次以下の式で表される数列は等差数列となる.

問題

$$\text{【1】 (1)} \quad \sum_{k=1}^5 a_{k+1} = a_2 + a_3 + a_4 + a_5 + a_6 \quad (\text{答})$$

$$(2) \quad \sum_{k=1}^5 a_{2k-1} = a_1 + a_3 + a_5 + a_7 + a_9 \quad (\text{答})$$

$$(3) \quad \sum_{k=3}^8 a_k = a_3 + a_4 + a_5 + a_6 + a_7 + a_8 \quad (\text{答})$$

$$(4) \quad \sum_{k=1}^5 (a_{k+1} - a_k) = (a_2 - a_1) + (a_3 - a_2) + (a_4 - a_3) + (a_5 - a_4) + (a_6 - a_5) \\ = -a_1 + a_6 \quad (\text{答})$$

$$\text{【2】 (1)} \quad \sum_{k=1}^n (2k-1) = 2 \sum_{k=1}^n k - \sum_{k=1}^n 1 \\ = 2 \cdot \frac{1}{2} n(n+1) - n \\ = n^2 \quad (\text{答})$$

$$(2) \quad \sum_{k=1}^n 3k(2k-1) = 6 \sum_{k=1}^n k^2 - 3 \sum_{k=1}^n k \\ = 6 \cdot \frac{1}{6} n(n+1)(2n+1) - 3 \cdot \frac{1}{2} n(n+1) \\ = \frac{1}{2} n(n+1)(4n+2-3) \\ = \frac{1}{2} n(n+1)(4n-1) \quad (\text{答})$$

$$(3) \quad \sum_{k=1}^n (k^3 - k) = \sum_{k=1}^n k^3 - \sum_{k=1}^n k \\ = \frac{1}{4} n^2(n+1)^2 - \frac{1}{2} n(n+1) \\ = \frac{1}{4} n(n+1)(n^2+n-2) \\ = \frac{1}{4} n(n+1)(n-1)(n+2) \quad (\text{答})$$

$$(4) \quad \sum_{k=1}^n 2^k = \frac{2 \cdot (2^n - 1)}{2 - 1} = 2^{n+1} - 2 \quad (\text{答})$$

$$\begin{aligned}
(5) \quad \sum_{k=1}^n \frac{3^k - 2^k}{4^k} &= \sum_{k=1}^n \left(\frac{3}{4}\right)^k - \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{2}\right)^k \\
&= \frac{\frac{3}{4} \left\{1 - \left(\frac{3}{4}\right)^n\right\}}{1 - \frac{3}{4}} - \frac{\frac{1}{2} \left\{1 - \left(\frac{1}{2}\right)^n\right\}}{1 - \frac{1}{2}} \\
&= 3 \left\{1 - \left(\frac{3}{4}\right)^n\right\} - \left\{1 - \left(\frac{1}{2}\right)^n\right\} \\
&= 2 - 3 \cdot \left(\frac{3}{4}\right)^n + \left(\frac{1}{2}\right)^n \quad (\text{答})
\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
(6) \quad \sum_{k=1}^5 (k+1)^2 &= \sum_{k=1}^5 (k^2 + 2k + 1) \\
&= \sum_{k=1}^5 k^2 + 2 \sum_{k=1}^5 k + \sum_{k=1}^5 1 \\
&= \frac{1}{6} \cdot 5 \cdot 6 \cdot 11 + 2 \cdot \frac{1}{2} \cdot 5 \cdot 6 + 5 \\
&= \mathbf{90} \quad (\text{答})
\end{aligned}$$

<別解>

$l = k + 1$ とおくと

$$\begin{array}{c|c} k & 1 \longrightarrow 5 \\ \hline l & 2 \longrightarrow 6 \end{array}$$

より

$$\begin{aligned}
\sum_{k=1}^5 (k+1)^2 &= \sum_{l=2}^6 l^2 \\
&= \sum_{l=1}^6 l^2 - \sum_{l=1}^1 l^2 \\
&= \frac{1}{6} \cdot 6 \cdot 7 \cdot 13 - 1^2 \\
&= \mathbf{90} \quad (\text{答})
\end{aligned}$$

【3】

$$S_n = 1 + 3x + 5x^2 + \cdots + (2n-1)x^{n-1} = \sum_{k=1}^n (2k-1)x^{k-1}$$

とおく.

(i) $x = 1$ のとき.

$$S_n = \sum_{k=1}^n (2k-1) = 2 \cdot \frac{1}{2} n(n+1) - n = n^2$$

(ii) $x \neq 1$ のとき.

$$\begin{aligned} S_n &= 1 + 3x + 5x^2 + \cdots + (2n-1)x^{n-1} \\ \rightarrow xS_n &= x + 3x^2 + \cdots + (2n-3)x^{n-1} + (2n-1)x^n \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (1-x)S_n &= 1 + 2(x + x^2 + \cdots + x^{n-1}) - (2n-1)x^n \\ &= 1 + 2 \cdot \frac{x \cdot (1-x^{n-1})}{1-x} - (2n-1)x^n \\ &= \frac{(1-x) + 2x(1-x^{n-1}) - (1-x)(2n-1)x^n}{1-x} \\ &= \frac{1+x - (2n+1)x^n + (2n-1)x^{n+1}}{1-x} \\ \therefore S_n &= \frac{1+x - (2n+1)x^n + (2n-1)x^{n+1}}{(1-x)^2} \end{aligned}$$

以上より、求める和は

$$S_n = \begin{cases} n^2 & (x = 1 \text{ のとき}) \\ \frac{1+x - (2n+1)x^n + (2n-1)x^{n+1}}{(1-x)^2} & (x \neq 1 \text{ のとき}) \end{cases} \quad (\text{答})$$

【4】問題の数列の第 k 項は

$$(2k - 1) \cdot (n - k + 1)$$

と表される。項数は n であるから、求める和を S_n とすると

$$\begin{aligned} S_n &= \sum_{k=1}^n (2k - 1) \cdot (n - k + 1) \\ &= \sum_{k=1}^n \{-2k^2 + (2n + 3)k - (n + 1)\} \\ &= -2 \cdot \frac{1}{6}n(n + 1)(2n + 1) + (2n + 3) \cdot \frac{1}{2}n(n + 1) - (n + 1) \cdot n \\ &= \frac{1}{6}n(n + 1)\{-2(2n + 1) + 3(2n + 3) - 6\} \\ &= \frac{1}{6}n(n + 1)(2n + 1) \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

【5】 (1)

$$\begin{aligned}\sum_{k=0}^n (k+1)(k+2) &= (0+1)(0+2) + \sum_{k=1}^n (k+1)(k+2) \\ &= 1 \cdot 2 + \sum_{k=1}^n k^2 + 3 \sum_{k=1}^n k + 2 \sum_{k=1}^n 1 \\ &= 2 + \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) + 3 \cdot \frac{1}{2}n(n+1) + 2n \\ &= \frac{1}{6}\{12 + n(n+1)(2n+1) + 9n(n+1) + 12n\} \\ &= \frac{1}{6}\{n(n+1)(2n+1) + 9n(n+1) + 12(n+1)\} \\ &= \frac{1}{6}(n+1)(2n^2 + 10n + 12) \\ &= \frac{1}{3}(n+1)(n^2 + 5n + 6) \\ &= \frac{1}{3}(n+1)(n+2)(n+3) \quad (\text{答})\end{aligned}$$

<コメント>

$$\sum_{k=1}^n k(k+1) = \frac{1}{3}n(n+1)(n+2) \text{ である.}$$

(2)

$$\begin{aligned}\sum_{k=1}^n (2k-1)^2 &= 4 \sum_{k=1}^n k^2 - 4 \sum_{k=1}^n k + \sum_{k=1}^n 1 \\ &= 4 \cdot \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) - 4 \cdot \frac{1}{2}n(n+1) + n \\ &= \frac{1}{3}n(4n^2 + 6n + 2 - 6n - 6 + 3) \\ &= \frac{1}{3}n(4n^2 - 1) \\ &= \frac{1}{3}n(2n+1)(2n-1) \quad (\text{答})\end{aligned}$$

(3)

$$\begin{aligned}\sum_{k=n+1}^{2n^2} k &= \sum_{k=1}^{2n^2} k - \sum_{k=1}^n k \\ &= \frac{1}{2} \cdot 2n^2 \cdot (2n^2 + 1) - \frac{1}{2}n(n+1) \\ &= \frac{1}{2}n\{2n(2n^2 + 1) - (n+1)\} \\ &= \frac{1}{2}n(4n^3 + 2n - n - 1) \\ &= \frac{1}{2}n(4n^3 + n - 1) \quad (\text{答})\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
(4) \quad \sum_{k=1}^n k(n-k+1) &= (n+1) \sum_{k=1}^n k - \sum_{k=1}^n k^2 \\
&= (n+1) \cdot \frac{1}{2}n(n+1) - \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) \\
&= \frac{1}{6}n(n+1)\{3(n+1) - (2n+1)\} \\
&= \frac{1}{6}n(n+1)(n+2) \quad (\text{答})
\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
(5) \quad \sum_{m=1}^l \sum_{n=1}^m \sum_{k=1}^n k &= \sum_{m=1}^l \sum_{n=1}^m \frac{1}{2}n(n+1) \\
&= \sum_{m=1}^l \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{3}m(m+1)(m+2) \\
&= \frac{1}{6} \sum_{m=1}^l m^3 + \frac{1}{2} \sum_{m=1}^l m^2 + \frac{1}{3} \sum_{m=1}^l m \\
&= \frac{1}{6} \cdot \frac{1}{4}l^2(l+1)^2 + \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{6}l(l+1)(2l+1) + \frac{1}{3} \cdot \frac{1}{2}l(l+1) \\
&= \frac{1}{24}l(l+1)\{l(l+1) + 2(2l+1) + 4\} \\
&= \frac{1}{24}l(l+1)(l^2 + 5l + 6) \\
&= \frac{1}{24}l(l+1)(l+2)(l+3) \quad (\text{答})
\end{aligned}$$

<コメント>

$\sum_{k=1}^n k(k+1)(k+2) = \frac{1}{4}n(n+1)(n+2)(n+3)$ を用いると,

$$\begin{aligned}
\sum_{m=1}^l \sum_{n=1}^m \sum_{k=1}^n k &= \sum_{m=1}^l \sum_{n=1}^m \frac{1}{2}n(n+1) \\
&= \sum_{m=1}^l \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{3}m(m+1)(m+2) \\
&= \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{3} \cdot \frac{1}{4}l(l+1)(l+2)(l+3) \\
&= \frac{1}{24}l(l+1)(l+2)(l+3) \quad (\text{答})
\end{aligned}$$

(6)

$$\begin{aligned}\sum_{i=1}^n \left(\sum_{k=1}^i ki \right) &= \sum_{i=1}^n \left\{ i \left(\sum_{k=1}^i k \right) \right\} \\ &= \sum_{i=1}^n \left\{ i \cdot \frac{1}{2} i(i+1) \right\} \\ &= \frac{1}{2} \sum_{i=1}^n i^3 + \frac{1}{2} \sum_{i=1}^n i^2 \\ &= \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{4} n^2(n+1)^2 + \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{6} n(n+1)(2n+1) \\ &= \frac{1}{24} n(n+1) \{ 3n(n+1) + 2(2n+1) \} \\ &= \frac{1}{24} n(n+1) (3n^2 + 7n + 2) \\ &= \frac{1}{24} n(n+1)(n+2)(3n+1) \quad (\text{答})\end{aligned}$$

【6】 (1) $1 \cdot 2 \cdot 3 + 2 \cdot 3 \cdot 4 + \dots +$ (第 n 項)

$$\begin{aligned} &= \sum_{k=1}^n k(k+1)(k+2) \\ &= \sum_{k=1}^n k^3 + 3 \sum_{k=1}^n k^2 + 2 \sum_{k=1}^n k \\ &= \frac{1}{4}n^2(n+1)^2 + 3 \cdot \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) + 2 \cdot \frac{1}{2}n(n+1) \\ &= \frac{1}{4}n(n+1)\{n(n+1) + 2(2n+1) + 4\} = \frac{1}{4}n(n+1)(n^2 + 5n + 6) \\ &= \frac{1}{4}n(n+1)(n+2)(n+3) \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

(2) 第 k 項は

$$\begin{aligned} &1 \cdot 10^{k-1} + 1 \cdot 10^{k-2} + \dots + 1 \cdot 10^0 \\ &= \sum_{i=1}^k 10^{i-1} \\ &= \frac{1 \cdot (10^k - 1)}{10 - 1} \\ &= \frac{10^k - 1}{9} \end{aligned}$$

と表される. よって, 求める和は

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \frac{10^k - 1}{9} &= \frac{1}{9} \sum_{k=1}^n 10^k - \frac{1}{9} \sum_{k=1}^n 1 \\ &= \frac{1}{9} \cdot \frac{10 \cdot (10^n - 1)}{10 - 1} - \frac{1}{9}n \\ &= \frac{1}{81} (10^{n+1} - 9n - 10) \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

【7】 (1) $S_n = 1 + (-2) + 3 + (-4) + 5 + (-6) + \cdots + (\text{第 } n \text{ 項})$

$$= \sum_{k=1}^n (-1)^{k-1} \cdot k$$

とおくと

$$S_n = 1 + (-2) + 3 + (-4) + 5 + \cdots + (-1)^{n-1} \cdot n$$

$$\rightarrow -S_n = (-1) + 2 + (-3) + 4 + \cdots + (-1)^{n-1} \cdot (n-1) + (-1)^n \cdot n$$

$$2S_n = \{1 + (-1) + 1 + (-1) + \cdots + (-1)^{n-1}\} - (-1)^n \cdot n$$

ここで

$$1 + (-1) + 1 + (-1) + \cdots + (-1)^{n-1}$$

は初項 1, 公比 -1 の等比数列の初項から第 n 項までの和であるから

$$2S_n = \frac{1 \cdot \{1 - (-1)^n\}}{1 - (-1)} - (-1)^n \cdot n$$

$$= \frac{1 - (-1)^n}{2} - (-1)^n \cdot n$$

$$= \frac{1}{2} - \frac{2n+1}{2} \cdot (-1)^n$$

$$\therefore S_n = \frac{1}{4} - \frac{2n+1}{4} \cdot (-1)^n \quad (\text{答})$$

(2) $S_n = 1^2 \cdot 3^0 + 2^2 \cdot 3^1 + 3^2 \cdot 3^2 + \cdots + n^2 \cdot 3^{n-1}$

とおくと

$$S_n = 1^2 \cdot 3^0 + 2^2 \cdot 3^1 + 3^2 \cdot 3^2 + \cdots + n^2 \cdot 3^{n-1}$$

$$\rightarrow 3S_n = 1^2 \cdot 3^1 + 2^2 \cdot 3^2 + 3^2 \cdot 3^3 + \cdots + n^2 \cdot 3^n$$

$$-2S_n = 1^2 \cdot 3^0 + (2^2 - 1^2) \cdot 3^1 + (3^2 - 2^2) \cdot 3^2$$

$$+ \cdots + \{n^2 - (n-1)^2\} \cdot 3^{n-1} - n^2 \cdot 3^n$$

$$= 1 \cdot 3^0 + 3 \cdot 3^1 + 5 \cdot 3^2 + \cdots + (2n-1) \cdot 3^{n-1} - n^2 \cdot 3^n$$

$$= \sum_{k=1}^n (2k-1) \cdot 3^{k-1} - n^2 \cdot 3^n$$

$$= 2 \sum_{k=1}^n k \cdot 3^{k-1} - \sum_{k=1}^n 3^{k-1} - n^2 \cdot 3^n$$

ここで

$$T_n = \sum_{k=1}^n k \cdot 3^{k-1} = 1 \cdot 3^0 + 2 \cdot 3^1 + 3 \cdot 3^2 + \cdots + n \cdot 3^{n-1}$$

とおくと,

$$\begin{aligned} T_n &= 1 \cdot 3^0 + 2 \cdot 3^1 + 3 \cdot 3^2 + \cdots + n \cdot 3^{n-1} \\ -) 3T_n &= 1 \cdot 3^1 + 2 \cdot 3^2 + 3 \cdot 3^3 + \cdots + n \cdot 3^n \\ \hline -2T_n &= 1 \cdot 3^0 + 1 \cdot 3^1 + 1 \cdot 3^2 + \cdots + 1 \cdot 3^{n-1} - n \cdot 3^n \\ &= \sum_{k=1}^n \{k - (k-1)\} \cdot 3^{k-1} - n \cdot 3^n \\ &= \sum_{k=1}^n 3^{k-1} - n \cdot 3^n \end{aligned}$$

ゆえに

$$\begin{aligned} -2S_n &= -\left(\sum_{k=1}^n 3^{k-1} - n \cdot 3^n\right) - \sum_{k=1}^n 3^{k-1} - n^2 \cdot 3^n \\ &= -2 \sum_{k=1}^n 3^{k-1} - (n^2 - n) \cdot 3^n \\ &= -2 \cdot \frac{1 \cdot (3^n - 1)}{3 - 1} - (n^2 - n) \cdot 3^n \\ &= -(n^2 - n + 1) \cdot 3^n + 1 \\ \therefore S_n &= \frac{(n^2 - n + 1) \cdot 3^n - 1}{2} \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

【8】(1) 問題の領域は図のようになる. この領域を D とおく.

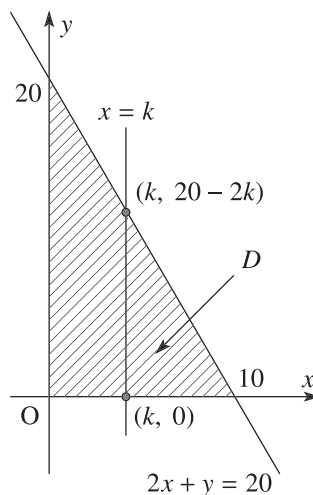
D 内に含まれる格子点のうち、
直線 $x = k$ ($k = 0, 1, 2, \dots, 10$) 上にあるものは

$$(k, 0), (k, 1), (k, 2), \dots, (k, -2k + 20)$$

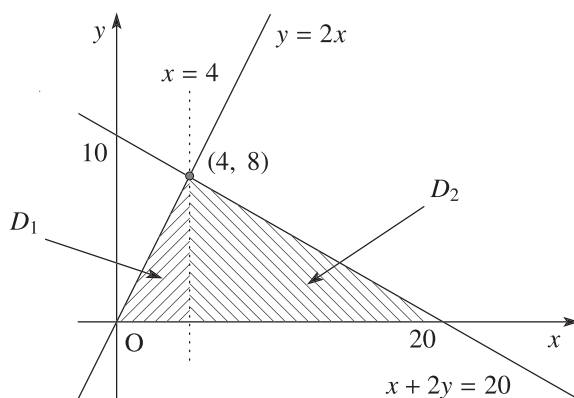
の $-2k + 20 + 1 = -2k + 21$ 個.

ゆえに求める格子点の個数は

$$\begin{aligned} \sum_{k=0}^{10} (-2k + 21) &= 21 + \sum_{k=1}^{10} (-2k + 21) \\ &= 21 - 2 \sum_{k=1}^{10} k + 21 \sum_{k=1}^{10} 1 \\ &= 21 - 2 \cdot \frac{1}{2} \cdot 10 \cdot 11 + 21 \cdot 10 \\ &= \mathbf{121} \text{ 個} \quad (\text{答}) \end{aligned}$$



(2) 問題の領域は図のようになる.



この領域を D とし、領域 D を以下のように 2 つの領域 D_1 , D_2 に分ける.

$$D_1 : y \geq 0, 0 \leq x < 4, y \leq 2x$$

$$D_2 : y \geq 0, 4 \leq x \leq 20, x + 2y \leq 20$$

また D_1 , D_2 に含まれる格子点の個数をそれぞれ N_1 , N_2 とする.

D_1 内の格子点のうち、直線 $x = k$ ($k = 0, 1, 2, 3$) 上にあるものは

$$(k, 0), (k, 1), (k, 2), \dots, (k, 2k)$$

の $2k+1$ 個. ゆえに

$$\begin{aligned} N_1 &= \sum_{k=0}^3 (2k+1) \\ &= 1 + \sum_{k=1}^3 (2k+1) \\ &= 1 + 2 \sum_{k=1}^3 k + \sum_{k=1}^3 1 \\ &= 1 + 2 \cdot \frac{1}{2} \cdot 3 \cdot 4 + 3 = 16 \text{ 個} \end{aligned}$$

また D_2 内の格子点のうち, 直線 $y = k$ ($k = 0, 1, 2, \dots, 8$) 上にあるものは

$$(4, k), (5, k), (6, k), \dots, (-2k+20, k)$$

の $(-2k+20) - 4 + 1 = -2k + 17$ 個. ゆえに

$$\begin{aligned} N_2 &= \sum_{k=0}^8 (-2k+17) \\ &= 17 + \sum_{k=1}^8 (-2k+17) \\ &= 17 - 2 \sum_{k=1}^8 k + 17 \sum_{k=1}^8 1 \\ &= 17 - 2 \cdot \frac{1}{2} \cdot 8 \cdot 9 + 17 \cdot 8 = 81 \text{ 個} \end{aligned}$$

よって求める個数は

$$N_1 + N_2 = 16 + 81 = \mathbf{97} \text{ 個} \quad (\text{答})$$

【9】 $C : y = x^2$
 $l : y = mx$

とおく. C と l の交点は

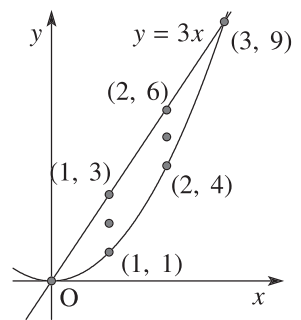
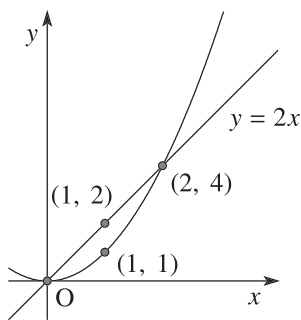
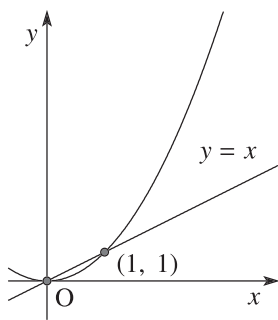
$$x^2 = mx \iff x = 0, m$$

(1) 図より

$$d_1 = 2 \quad (\text{答})$$

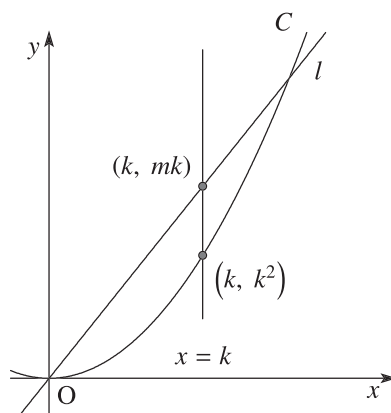
$$d_2 = 4 \quad (\text{答})$$

$$d_3 = 8 \quad (\text{答})$$



(2) 図より

$$mk - k^2 + 1 \text{ 個} \quad (\text{答})$$



(3) 求める格子点の個数は、(2)の結果の $k = 0, 1, 2, \dots, m$ にわたる和をとって

$$\begin{aligned}\sum_{k=0}^m (mk - k^2 + 1) &= -\sum_{k=0}^m k^2 + m \sum_{k=0}^m k + \sum_{k=0}^m 1 \\ &= -\frac{1}{6}m(m+1)(2m+1) + m \cdot \frac{1}{2}m(m+1) + (m+1) \\ &= \frac{1}{6}(m+1) \{-m(2m+1) + 3m^2 + 6\} \\ &= \frac{1}{6}(m+1)(m^2 - m + 6) \quad (\text{答})\end{aligned}$$

【10】 上から k 段目、左から第 i 項の数は

$$k \cdot i$$

であるから、 k 段目にある n 個の数の和は

$$\sum_{i=1}^n k \cdot i = k \sum_{i=1}^n i = k \cdot \frac{1}{2}n(n+1)$$

よって、1 段目から n 段目までの n^2 個の数の和は

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n k \cdot \frac{1}{2}n(n+1) &= \frac{1}{2}n(n+1) \sum_{k=1}^n k \\ &= \frac{1}{2}n(n+1) \cdot \frac{1}{2}n(n+1) \\ &= \frac{1}{4}n^2(n+1)^2 \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

<コメント>

左上から対角線上にある各項は、 k^2 ($k = 1, 2, 3, \dots, n$) の形で表される。

1 · 1	1 · 2	1 · 3	⋯⋯⋯	1 · k	⋯⋯⋯	1 · n
2 · 1	2 · 2	2 · 3	⋯⋯⋯	2 · k	⋯⋯⋯	2 · n
3 · 1	3 · 2	3 · 3	⋯⋯⋯	3 · k	⋯⋯⋯	3 · n
⋮	⋮	⋮	⋱	⋮		⋮
k · 1	k · 2	k · 3	⋯⋯⋯	k · k	⋯⋯⋯	k · n
⋮	⋮	⋮		⋮	⋱	⋮
n · 1	n · 2	n · 3	⋯⋯⋯	n · k	⋯⋯⋯	n · n

その k にしたがって放射状に広がるまとまりを考えると、 k 番目のまとまりの和は

$$\begin{aligned} &2 \cdot \{k \cdot 1 + k \cdot 2 + k \cdot 3 + \dots + k \cdot (k-1)\} + k \cdot k \\ &= 2k \sum_{i=1}^{k-1} i + k^2 \\ &= 2k \cdot \frac{(k-1) \cdot k}{2} + k^2 \\ &= (k^3 - k^2) + k^2 \\ &= k^3 \end{aligned}$$

となる。ゆえに求める和は、

$$\sum_{k=1}^n k^3 = \frac{1}{4}n^2(n+1)^2 \quad (\text{答})$$

となる。

【11】 求める和は

$$\begin{aligned} &1 \cdot 2 + 1 \cdot 3 + 1 \cdot 4 + \cdots + 1 \cdot n \\ &\quad + 2 \cdot 3 + 2 \cdot 4 + \cdots + 2 \cdot n \\ &\quad\quad + 3 \cdot 4 + \cdots + 3 \cdot n \\ &\quad\quad\quad + \cdots \\ &\quad\quad\quad\quad + (n-1)n \end{aligned}$$

である. これを S とおく. ここで

$$(1+2+\cdots+n)(1+2+\cdots+n)$$

を展開すると, 異なる 2 つの数の積が 2 個ずつ, 同じ数の積が 1 個ずつ現れるから,

$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2} \{(1+2+3+\cdots+n)(1+2+3+\cdots+n) - (1 \cdot 1 + 2 \cdot 2 + \cdots + n \cdot n)\} \\ &= \frac{1}{2} \left\{ \left(\sum_{k=1}^n k \right)^2 - \left(\sum_{k=1}^n k^2 \right) \right\} \\ &= \frac{1}{2} \left\{ \left(\frac{1}{2}n(n+1) \right)^2 - \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) \right\} \\ &= \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{12}n(n+1) \{3n(n+1) - 2(2n+1)\} \\ &= \frac{1}{24}n(n+1)(3n^2 - n - 2) \\ &= \frac{1}{24}n(n+1)(n-1)(3n+2) \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

添削課題

【1】(1) 初項 1, 公差 3 の等差数列だから, 一般項 a_n は

$$a_n = 1 + (n-1) \cdot 3 = 3n - 2 \quad (\text{答})$$

また, 初項から第 n 項までの和は

$$\sum_{k=1}^n a_k = \sum_{k=1}^n (3k - 2) \quad (\text{答})$$

(2) 初項 2, 公比 -3 の等比数列だから, 一般項 a_n は

$$a_n = 2 \cdot (-3)^{n-1} \quad (\text{答})$$

また, 初項から第 n 項までの和は

$$\sum_{k=1}^n a_k = \sum_{k=1}^n 2 \cdot (-3)^{k-1} \quad (\text{答})$$

(3) $\sum_{k=1}^5 a_n = a_1 + a_2 + a_3 + a_4 + a_5$ より

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^5 (k^2 + 1) &= (1^2 + 1) + (2^2 + 1) + (3^2 + 1) + (4^2 + 1) + (5^2 + 1) \\ &= 2 + 5 + 10 + 17 + 26 \\ &= 60 \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

【2】(1) ① $\sum_{k=1}^n (a_k + b_k) = \sum_{k=1}^n a_k + \sum_{k=1}^n b_k \quad (\text{答})$

② $\sum_{k=1}^n ca_k = c \sum_{k=1}^n a_k \quad (\text{答})$

(2) ① $\sum_{k=1}^n c = cn \quad (\text{答})$

② $\sum_{k=1}^n k = \frac{1}{2}n(n+1) \quad (\text{答})$

③ $\sum_{k=1}^n k^2 = \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) \quad (\text{答})$

④ $\sum_{k=1}^n k^3 = \left\{ \frac{1}{2}n(n+1) \right\}^2 = \frac{1}{4}n^2(n+1)^2 \quad (\text{答})$

⑤ $\sum_{k=1}^n ar^{k-1} = \frac{a(r^n - 1)}{r - 1} \quad (\text{答})$

$$\begin{aligned}
 \text{【3】 (1)} \quad \sum_{k=1}^n (3k-2) &= 3 \sum_{k=1}^n k - \sum_{k=1}^n 2 \\
 &= 3 \cdot \frac{1}{2} n(n+1) - 2n \\
 &= \frac{3n^2 - n}{2} = \frac{1}{2} n(3n-1) \quad (\text{答})
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{(2)} \quad \sum_{k=1}^n k^2(k+1) &= \sum_{k=1}^n (k^3 + k^2) \\
 &= \sum_{k=1}^n k^3 + \sum_{k=1}^n k^2 \\
 &= \frac{1}{4} n^2(n+1)^2 + \frac{1}{6} n(n+1)(2n+1) \\
 &= \frac{1}{12} n(n+1)(3n^2 + 7n + 2) \\
 &= \frac{1}{12} n(n+1)(n+2)(3n+1) \quad (\text{答})
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{(3)} \quad \sum_{k=n+1}^{2n} k &= \sum_{k=1}^{2n} k - \sum_{k=1}^n k \\
 &= \frac{1}{2} \cdot 2n(2n+1) - \frac{1}{2} n(n+1) \\
 &= n(2n+1) - \frac{1}{2} n(n+1) \\
 &= \frac{1}{2} n\{2(2n+1) - (n+1)\} = \frac{1}{2} n(3n+1) \quad (\text{答})
 \end{aligned}$$

【4】 一般項 $a_n = n(n+1) = n^2 + n$

$$\begin{aligned}
 \text{よつて,} \quad \sum_{k=1}^n a_k &= \sum_{k=1}^n (k^2 + k) \\
 &= \sum_{k=1}^n k^2 + \sum_{k=1}^n k \\
 &= \frac{1}{6} n(n+1)(2n+1) + \frac{1}{2} n(n+1) \\
 &= \frac{1}{6} n(n+1)\{(2n+1) + 3\} \\
 &= \frac{1}{6} n(n+1)(2n+4) \\
 &= \frac{1}{3} n(n+1)(n+2) \quad (\text{答})
 \end{aligned}$$

【5】 $S = 2 + (-4) + 6 + (-8) + 10 + \dots + 2n \cdot (-1)^{n-1}$ とおくと,

$$S = 2 + (-4) + 6 + (-8) + 10 + \dots + 2n \cdot (-1)^{n-1}$$

$$\begin{array}{r} -) - S = \quad \quad \quad (-2) + 4 + (-6) + 8 + \dots + 2(n-1) \cdot (-1)^{n-1} \quad + 2n \cdot (-1)^n \\ \hline 2S = 2 + (-2) + 2 + (-2) + 2 + \dots + 2 \cdot (-1)^{n-1} \quad - 2n \cdot (-1)^n \end{array}$$

$$\begin{aligned} \text{よって } 2S &= \sum_{k=1}^n 2 \cdot (-1)^{k-1} - 2n \cdot (-1)^n \\ &= 2 \cdot \frac{1 \cdot \{1 - (-1)^n\}}{1 - (-1)} - 2n \cdot (-1)^n \\ &= 1 - (-1)^n - 2n \cdot (-1)^n \\ &= 1 - (2n + 1) \cdot (-1)^n \\ S &= \frac{1 - (2n + 1) \cdot (-1)^n}{2} \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

問題

【1】(1) 恒等式

$$\frac{1}{(k+1)(k+2)} = \frac{1}{k+1} - \frac{1}{k+2}$$

より

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \frac{1}{(k+1)(k+2)} &= \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{k+1} - \frac{1}{k+2} \right) \\ &= \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{3} \right) + \left(\frac{1}{3} - \frac{1}{4} \right) + \cdots \\ &\quad + \left(\frac{1}{n} - \frac{1}{n+1} \right) + \left(\frac{1}{n+1} - \frac{1}{n+2} \right) \\ &= \frac{1}{2} - \frac{1}{n+2} \\ &= \frac{n}{2(n+2)} \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

(2) 恒等式

$$\frac{1}{k(k+2)} = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{k} - \frac{1}{k+2} \right)$$

より

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \frac{1}{k(k+2)} &= \sum_{k=1}^n \frac{1}{2} \left(\frac{1}{k} - \frac{1}{k+2} \right) \\ &= \frac{1}{2} \left\{ \left(1 - \frac{1}{3} \right) + \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{4} \right) + \left(\frac{1}{3} - \frac{1}{5} \right) \right. \\ &\quad \left. + \cdots + \left(\frac{1}{n-1} - \frac{1}{n+1} \right) + \left(\frac{1}{n} - \frac{1}{n+2} \right) \right\} \\ &= \frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{2} - \frac{1}{n+1} - \frac{1}{n+2} \right) \\ &= \frac{1}{2} \cdot \frac{3(n+1)(n+2) - 2(n+2) - 2(n+1)}{2(n+1)(n+2)} \\ &= \frac{3n^2 + 5n}{4(n+1)(n+2)} \\ &= \frac{n(3n+5)}{4(n+1)(n+2)} \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

(3) 恒等式

$$\frac{1}{k(k+1)(k+2)(k+3)} = \frac{1}{3} \left\{ \frac{1}{k(k+1)(k+2)} - \frac{1}{(k+1)(k+2)(k+3)} \right\}$$

より

$$\begin{aligned} & \sum_{k=1}^n \frac{1}{k(k+1)(k+2)(k+3)} \\ &= \frac{1}{3} \sum_{k=1}^n \left\{ \frac{1}{k(k+1)(k+2)} - \frac{1}{(k+1)(k+2)(k+3)} \right\} \\ &= \frac{1}{3} \left[\left(\frac{1}{1 \cdot 2 \cdot 3} - \frac{1}{2 \cdot 3 \cdot 4} \right) + \left(\frac{1}{2 \cdot 3 \cdot 4} - \frac{1}{3 \cdot 4 \cdot 5} \right) + \cdots \right. \\ & \quad \left. + \left\{ \frac{1}{n(n+1)(n+2)} - \frac{1}{(n+1)(n+2)(n+3)} \right\} \right] \\ &= \frac{1}{3} \left\{ \frac{1}{1 \cdot 2 \cdot 3} - \frac{1}{(n+1)(n+2)(n+3)} \right\} \\ &= \frac{1}{3} \cdot \frac{(n+1)(n+2)(n+3) - 6}{6(n+1)(n+2)(n+3)} \\ &= \frac{n(n^2 + 6n + 11)}{18(n+1)(n+2)(n+3)} \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

(4) 与式は

$$\frac{1}{3 \cdot 5} + \frac{1}{5 \cdot 7} + \frac{1}{7 \cdot 9} + \cdots + (\text{第 } n \text{ 項}) = \sum_{k=1}^n \frac{1}{(2k+1)(2k+3)}$$

であり,

$$\frac{1}{(2k+1)(2k+3)} = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{2k+1} - \frac{1}{2k+3} \right)$$

であるから, 求める和は

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \frac{1}{(2k+1)(2k+3)} &= \frac{1}{2} \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{2k+1} - \frac{1}{2k+3} \right) \\ &= \frac{1}{2} \left\{ \left(\frac{1}{3} - \frac{1}{5} \right) + \left(\frac{1}{5} - \frac{1}{7} \right) + \cdots \right. \\ & \quad \left. + \left(\frac{1}{2n-1} - \frac{1}{2n+1} \right) + \left(\frac{1}{2n+1} - \frac{1}{2n+3} \right) \right\} \\ &= \frac{1}{2} \left(\frac{1}{3} - \frac{1}{2n+3} \right) \\ &= \frac{n}{3(2n+3)} \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

(5) 与式より

$$\begin{aligned} & \frac{1}{\sqrt{1} + \sqrt{2}} + \frac{1}{\sqrt{2} + \sqrt{3}} + \cdots + \frac{1}{\sqrt{n} + \sqrt{n+1}} \\ &= \sum_{k=1}^n \frac{1}{\sqrt{k} + \sqrt{k+1}} \\ &= \sum_{k=1}^n \frac{\sqrt{k} - \sqrt{k+1}}{(\sqrt{k} + \sqrt{k+1})(\sqrt{k} - \sqrt{k+1})} \\ &= - \sum_{k=1}^n (\sqrt{k} - \sqrt{k+1}) \\ &= - \{(\sqrt{1} - \sqrt{2}) + (\sqrt{2} - \sqrt{3}) + \cdots + (\sqrt{n-1} - \sqrt{n}) + (\sqrt{n} - \sqrt{n+1})\} \\ &= -(\sqrt{1} - \sqrt{n+1}) \\ &= \sqrt{n+1} - 1 \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

(6) 恒等式

$$\log_2 \frac{k+1}{k} = \log_2(k+1) - \log_2 k$$

より

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \log_2 \frac{k+1}{k} &= \sum_{k=1}^n \{\log_2(k+1) - \log_2 k\} \\ &= (\log_2 2 - \log_2 1) + (\log_2 3 - \log_2 2) \\ &\quad + \cdots + \{\log_2 n - \log_2(n-1)\} + \{\log_2(n+1) - \log_2 n\} \\ &= \log_2(n+1) - \log_2 1 \\ &= \log_2(n+1) \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

【2】(1) 問題の数列を $\{a_n\}$, $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とおくと

$$\{a_n\} : -1, 0, 4, 11, 21, 34, \dots$$

$$\{b_n\} : 1, 4, 7, 10, 13, \dots$$

$\{b_n\}$ は初項 1, 公差 3 の等差数列であるから

$$b_n = 1 + 3(n-1) = 3n - 2$$

したがって, $n \geq 2$ のとき,

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k = -1 + \sum_{k=1}^{n-1} (3k - 2) \\ &= -1 + 3 \cdot \frac{1}{2}(n-1) \cdot n - 2(n-1) \\ &= \frac{1}{2}(3n^2 - 7n + 2) \\ &= \frac{1}{2}(n-2)(3n-1) \end{aligned}$$

$n = 1$ のとき

$$\frac{1}{2} \cdot (-1) \cdot 2 = -1 = a_1$$

より, 上式は $n = 1$ のときも成り立つ. よって求める一般項は

$$a_n = \frac{1}{2}(n-2)(3n-1) \quad (\text{答})$$

(2) 問題の数列を $\{a_n\}$, $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とおくと

$$\{a_n\} : 1, 4, 13, 40, 121, 364, \dots$$

$$\{b_n\} : 3, 9, 27, 81, 243, \dots$$

$\{b_n\}$ は初項 3, 公比 3 の等比数列であるから

$$b_n = 3 \cdot 3^{n-1} = 3^n$$

したがって, $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k = 1 + \sum_{k=1}^{n-1} 3^k \\ &= 1 + \frac{3 \cdot (3^{n-1} - 1)}{3 - 1} \\ &= 1 + \frac{1}{2}(3^n - 3) = \frac{1}{2}(3^n - 1) \end{aligned}$$

$n = 1$ とすると

$$\frac{1}{2} \cdot (3 - 1) = 1 = a_1$$

より, 上式は $n = 1$ のときも成り立つ. よって求める一般項は

$$a_n = \frac{1}{2}(3^n - 1) \quad (\text{答})$$

【3】(1) 条件より

$$S_n = 2n^2 + 2n = 2n(n+1) \quad \dots \textcircled{1}$$

(i) $n = 1$ のとき.

$$a_1 = S_1 = 2 \cdot 1 \cdot 2 = 4$$

(ii) $n \geq 2$ のとき.

① で n を $n-1$ としたものの差をとって

$$\begin{aligned} a_n &= S_n - S_{n-1} \\ &= 2n(n+1) - 2(n-1)n \\ &= 4n \end{aligned}$$

これは、 $n = 1$ のときも成り立つ.

よって求める一般項は

$$a_n = 4n \quad (\text{答})$$

(2) 条件より

$$S_n = n^2 + 3 \quad \dots \textcircled{2}$$

(i) $n = 1$ のとき.

$$a_1 = S_1 = 1^2 + 3 = 4$$

(ii) $n \geq 2$ のとき.

② で n を $n-1$ としたものの差をとって

$$\begin{aligned} a_n &= S_n - S_{n-1} \\ &= (n^2 + 3) - \{(n-1)^2 + 3\} \\ &= 2n - 1 \end{aligned}$$

これは $n = 1$ のとき成立しない.

よって求める一般項は

$$a_n = \begin{cases} 4 & (n = 1) \\ 2n - 1 & (n \geq 2) \end{cases} \quad (\text{答})$$

(3) 条件より

$$S_n = n \cdot 2^{n+1} + 1 \quad \dots \textcircled{3}$$

(i) $n = 1$ のとき.

$$a_1 = S_1 = 1 \cdot 2^{1+1} + 1 = 5$$

(ii) $n \geq 2$ のとき.

③ で n を $n-1$ としたもののとの差をとって

$$\begin{aligned} a_n &= S_n - S_{n-1} \\ &= n \cdot 2^{n+1} + 1 - \{(n-1) \cdot 2^n + 1\} \\ &= n \cdot 2^{n+1} - n \cdot 2^n + 2^n \\ &= (n+1) \cdot 2^n \end{aligned}$$

これは $n = 1$ のとき成立しない.

よって求める一般項は

$$a_n = \begin{cases} 5 & (n = 1) \\ (n+1) \cdot 2^n & (n \geq 2) \end{cases} \quad (\text{答})$$

【4】(1) 恒等式

$$k(k+1)(k+2)(k+3) = \frac{1}{5} \{k(k+1)(k+2)(k+3)(k+4) - (k-1)k(k+1)(k+2)(k+3)\}$$

を用いて,

$$\begin{aligned} & \sum_{k=1}^n k(k+1)(k+2)(k+3) \\ &= \frac{1}{5} \sum_{k=1}^n \{k(k+1)(k+2)(k+3)(k+4) - (k-1)k(k+1)(k+2)(k+3)\} \\ &= \frac{1}{5} [(1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5 - 0 \cdot 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4) + (2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5 \cdot 6 - 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5) + \dots \\ & \quad + \{(n-1)n(n+1)(n+2)(n+3) - (n-2)(n-1)n(n+1)(n+2)\} \\ & \quad + \{n(n+1)(n+2)(n+3)(n+4) - (n-1)n(n+1)(n+2)(n+3)\}] \\ &= \frac{1}{5} n(n+1)(n+2)(n+3)(n+4) \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

<コメント>

一般に, 正整数 p に対して, 次のことが成り立つ.

$$\sum_{k=1}^n k(k+1)(k+2) \cdots (k+p) = \frac{1}{p+2} k(k+1)(k+2) \cdots (k+p+1)$$

(2) 恒等式

$$(k+1)! = (k+1) \cdot k!$$

より

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n k \cdot k! &= \sum_{k=1}^n \{(k+1)! - k!\} \\ &= (2! - 1!) + (3! - 2!) + \dots + \{(n+1)! - n!\} \\ &= (n+1)! - 1 \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

(3) 与えられた式は

$$\sum_{k=1}^n \frac{2k}{(2k-1)^2(2k+1)^2}$$

である. ここで

$$\frac{2k}{(2k-1)^2(2k+1)^2} = \frac{a}{(2k-1)^2} + \frac{b}{(2k+1)^2}$$

をみたす定数 a, b を求める. 通分して

$$\frac{a}{(2k-1)^2} + \frac{b}{(2k+1)^2} = \frac{4(a+b)k^2 + 4(a-b)k + (a+b)}{(2k-1)^2(2k+1)^2}$$

上式と比較して

$$a + b = 0, \quad a - b = \frac{1}{2}$$

これを解いて

$$a = \frac{1}{4}, \quad b = -\frac{1}{4}$$

すなわち

$$\frac{2k}{(2k-1)^2(2k+1)^2} = \frac{1}{4} \left\{ \frac{1}{(2k-1)^2} - \frac{1}{(2k+1)^2} \right\}$$

であるから、求める和は

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \frac{2k}{(2k-1)^2(2k+1)^2} &= \frac{1}{4} \sum_{k=1}^n \left\{ \frac{1}{(2k-1)^2} - \frac{1}{(2k+1)^2} \right\} \\ &= \frac{1}{4} \left[\left(\frac{1}{1^2} - \frac{1}{3^2} \right) + \left(\frac{1}{3^2} - \frac{1}{5^2} \right) + \cdots + \left\{ \frac{1}{(2n-1)^2} - \frac{1}{(2n+1)^2} \right\} \right] \\ &= \frac{1}{4} \left\{ 1 - \frac{1}{(2n+1)^2} \right\} \\ &= \frac{n(n+1)}{(2n+1)^2} \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

(4) 与えられた式は

$$\sum_{k=1}^n \frac{1}{k(k+2)}$$

であり、恒等式

$$\frac{1}{k(k+2)} = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{k} - \frac{1}{k+2} \right)$$

を用いて

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \frac{1}{k(k+2)} &= \sum_{k=1}^n \frac{1}{2} \left(\frac{1}{k} - \frac{1}{k+2} \right) \\ &= \frac{1}{2} \left\{ \left(1 - \frac{1}{3} \right) + \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{4} \right) + \left(\frac{1}{3} + \frac{1}{5} \right) \right. \\ &\quad \left. + \cdots + \left(\frac{1}{n-1} - \frac{1}{n+1} \right) + \left(\frac{1}{n} - \frac{1}{n+2} \right) \right\} \\ &= \frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{2} - \frac{1}{n+1} - \frac{1}{n+2} \right) \\ &= \frac{1}{2} \cdot \frac{3(n+1)(n+2) - 2(n+2) - 2(n+1)}{2(n+1)(n+2)} \\ &= \frac{3n^2 + 5n}{4(n+1)(n+2)} = \frac{n(3n+5)}{4(n+1)(n+2)} \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

(5) 一般項の分母は

$$\begin{aligned} & 1^2 + 3^2 + \dots + (2k-1)^2 \\ &= \sum_{m=1}^k (2m-1)^2 = \sum_{m=1}^k (4m^2 - 4m + 1) \\ &= 4 \cdot \frac{1}{6} k(k+1)(2k+1) - 4 \cdot \frac{1}{2} k(k+1) + k \\ &= \frac{1}{3} k \cdot \{2(k+1)(2k+1) - 6(k+1) + 3\} \\ &= \frac{1}{3} k(4k^2 - 1) \end{aligned}$$

であるから

$$\begin{aligned} & \sum_{k=1}^n \frac{k}{1^2 + 3^2 + \dots + (2k-1)^2} \\ &= \sum_{k=1}^n \frac{k}{\frac{1}{3} k(4k^2 - 1)} = \sum_{k=1}^n \frac{3}{4k^2 - 1} \\ &= 3 \sum_{k=1}^n \frac{1}{(2k+1)(2k-1)} \\ &= \frac{3}{2} \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{2k-1} - \frac{1}{2k+1} \right) \\ &= \frac{3}{2} \left\{ \left(\frac{1}{1} - \frac{1}{3} \right) + \left(\frac{1}{3} - \frac{1}{5} \right) + \dots + \left(\frac{1}{2n-1} - \frac{1}{2n+1} \right) \right\} \\ &= \frac{3}{2} \left(1 - \frac{1}{2n+1} \right) \\ &= \frac{3n}{2n+1} \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

【5】問題の数列を $\{a_n\}$, $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とすると

$$\{a_n\} : -10, -4, -1, 0, 0, 0, 1, 4, 10, \dots$$

$$\{b_n\} : 6, 3, 1, 0, 0, 1, 3, 6, \dots$$

また $\{b_n\}$ の階差数列を $\{c_n\}$ とすると

$$\{c_n\} : -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, \dots$$

$\{c_n\}$ は初項 -3 , 公差 1 の等差数列であるから

$$c_n = -3 + (n-1) \cdot 1 = n-4$$

$\{b_n\}$ の一般項は, $n \geq 2$ として

$$\begin{aligned} b_n &= b_1 + \sum_{k=1}^{n-1} c_k = 6 + \sum_{k=1}^{n-1} (k-4) \\ &= 6 + \frac{1}{2} \cdot (n-1) \cdot n - 4(n-1) \\ &= \frac{1}{2}(n^2 - 9n + 20) \end{aligned}$$

$n = 1$ のとき

$$\frac{1}{2} \cdot (1 - 9 + 20) = 6 = b_1$$

であるから, 上式は $n = 1$ のときも成り立つ.

また $\{a_n\}$ の一般項は, $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k \\ &= -10 + \frac{1}{2} \sum_{k=1}^{n-1} (k^2 - 9k + 20) \\ &= -10 + \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{6} \cdot (n-1) \cdot n \{2(n-1) + 1\} \\ &\quad - \frac{9}{2} \cdot \frac{1}{2} (n-1)n + \frac{1}{2} \cdot 20(n-1) \\ &= \frac{1}{12}(2n^3 - 30n^2 + 148n - 240) \\ &= \frac{1}{6}(n^3 - 15n^2 + 74n - 120) \\ &= \frac{1}{6}(n-4)(n-5)(n-6) \end{aligned}$$

$n = 1$ のとき

$$\frac{1}{6} \cdot (-3) \cdot (-4) \cdot (-5) = -10 = a_1$$

より, 上式は $n = 1$ のときも成り立つ.

よって求める一般項は

$$a_n = \frac{1}{6}(n-4)(n-5)(n-6) \quad (\text{答})$$

【6】(1) 等式

$$\frac{5n+6}{n(n+1)(n+2)} = \frac{a}{n(n+1)} + \frac{b}{(n+1)(n+2)}$$

が恒等式となるための数 a , b を求める. 右辺を通分して

$$\begin{aligned}\frac{5n+6}{n(n+1)(n+2)} &= \frac{a(n+2)+bn}{n(n+1)(n+2)} \\ &= \frac{(a+b)n+2a}{n(n+1)(n+2)}\end{aligned}$$

係数を比較して

$$a+b=5, \quad 2a=6$$

これを解いて

$$a=3, \quad b=2$$

よって

$$a_n = \frac{\boxed{3}}{n(n+1)} + \frac{\boxed{2}}{(n+1)(n+2)} \quad (\text{答})$$

(2) 求める和は

$$\sum_{k=1}^n a_k = \sum_{k=1}^n \frac{3}{k(k+1)} + \sum_{k=1}^n \frac{2}{(k+1)(k+2)}$$

ここで $S_n = \sum_{k=1}^n \frac{3}{k(k+1)}$ とおくと

$$\begin{aligned}S_n &= 3 \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{k} - \frac{1}{k+1} \right) \\ &= 3 \left\{ \left(1 - \frac{1}{2} \right) + \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{3} \right) + \left(\frac{1}{3} - \frac{1}{4} \right) + \cdots + \left(\frac{1}{n} - \frac{1}{n+1} \right) \right\} \\ &= 3 \left(1 - \frac{1}{n+1} \right)\end{aligned}$$

また $T_n = \sum_{k=1}^n \frac{2}{(k+1)(k+2)}$ とおくと

$$\begin{aligned}T_n &= 2 \sum_{k=1}^n \frac{1}{(k+1)(k+2)} \\ &= 2 \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{k+1} - \frac{1}{k+2} \right) \\ &= 2 \left\{ \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{3} \right) + \left(\frac{1}{3} - \frac{1}{4} \right) + \cdots + \left(\frac{1}{n} - \frac{1}{n+1} \right) + \left(\frac{1}{n+1} - \frac{1}{n+2} \right) \right\} \\ &= 2 \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{n+2} \right)\end{aligned}$$

ゆえに

$$\begin{aligned}\sum_{k=1}^n a_k &= S_n + T_n \\ &= 3\left(1 - \frac{1}{n+1}\right) + 2\left(\frac{1}{2} - \frac{1}{n+2}\right) \\ &= 4 - \frac{3}{n+1} - \frac{2}{n+2} \\ &= \frac{n(4n+7)}{(n+1)(n+2)} \quad (\text{答})\end{aligned}$$

【7】(1) 正整数 n に対して, $\cos \frac{n\pi}{2}$ の値は次の表のようになる.

n	1	2	3	4	5	6	7	8	...	$4k-3$	$4k-2$	$4k-1$	$4k$...
$\cos \frac{n\pi}{2}$	0	-1	0	1	0	-1	0	1	...	0	-1	0	1	...

ゆえに k を正整数として

$$\cos \frac{n\pi}{2} = \begin{cases} 0 & (n = 4k - 1, 4k - 3) \\ -1 & (n = 4k - 2) \\ 1 & (n = 4k) \end{cases} \quad (\text{答})$$

(2) 数列 $\left\{2^k \cos \frac{k\pi}{2}\right\}$ を列挙すると

$$0, -2^2, 0, 2^4, 0, -2^6, 0, 2^8, \dots$$

この数列の初項から第 $4n$ 項までの和は, 初項 $-2^2 = -4$, 公比 $-2^2 = -4$ の等比数列の, 初項から第 $2n$ 項までの和に等しい. ゆえに

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^{4n} (-2)^k \cos \frac{k\pi}{2} &= \frac{-4 \{1 - (-4)^{2n}\}}{1 - (-4)} \\ &= \frac{4}{5} (16^n - 1) \quad (\text{答}) \end{aligned}$$

【8】(1) 数列 $\{a_n\}$ は

$$\{a_n\} : 1, 2, 4, 5, 7, 8, 10, 11, \dots$$

である. この数列の第 $2m$ 項は, 3 で割って 2 余る正整数のうち, 小さいほうから m 番目の数である.

3 で割って 2 余る数は, 初項 2, 公差 3 の等差数列であるから,

$$a_{2m} = 2 + (m-1) \cdot 3 = 3m - 1 \quad (\text{答})$$

(2) (1) より, 正整数 m に対して

$$a_{2m-1} = a_{2m} - 1 = 3m - 2$$

(i) n が偶数, すなわち $n = 2m$ のとき.

$$\begin{aligned} S_n &= (a_1 + a_2) + (a_3 + a_4) + \dots + (a_{2m-1} + a_{2m}) \\ &= (a_1 + a_3 + \dots + a_{2m-1}) + (a_2 + a_4 + \dots + a_{2m}) \\ &= \sum_{k=1}^m (a_{2k-1} + a_{2k}) \\ &= \sum_{k=1}^m \{(3k-2) + (3k-1)\} \\ &= \sum_{k=1}^m (6k-3) = 6 \sum_{k=1}^m k - 3 \sum_{k=1}^m 1 \\ &= 6 \cdot \frac{1}{2} m(m+1) - 3m \\ &= 3m^2 \end{aligned}$$

$$m = \frac{n}{2} \text{ より}$$

$$S_n = 3 \left(\frac{n}{2} \right)^2 = \frac{3}{4} n^2$$

(ii) n が奇数, すなわち $n = 2m - 1$ のとき.

$$\begin{aligned} S_n &= (a_1 + a_2) + (a_3 + a_4) + \dots + (a_{2m-3} + a_{2m-2}) + a_{2m-1} \\ &= (a_1 + a_3 + \dots + a_{2m-3} + a_{2m-1}) + (a_2 + a_4 + \dots + a_{2m-2} + a_{2m}) - a_{2m} \\ &= 3m^2 - a_{2m} \\ &= 3m^2 - 3m + 1 \end{aligned}$$

$$m = \frac{1}{2}(n+1) \text{ より}$$

$$S_n = 3 \left\{ \frac{1}{2}(n+1) \right\}^2 - 3 \left\{ \frac{1}{2}(n+1) \right\} + 1 = \frac{1}{4} (3n^2 + 1)$$

以上より, k を正整数として

$$S_n = \begin{cases} \frac{3}{4} n^2 & (n = 2k) \\ \frac{1}{4} (3n^2 + 1) & (n = 2k - 1) \end{cases} \quad (\text{答})$$

(3) (1) より $a_n > 0$ は明らかなので、 S_n は単調増加である。

$$S_{28} = \frac{3}{4} \cdot 28^2 = 588 < 600$$

$$S_{29} = \frac{1}{4} (3 \cdot 29^2 + 1) = 631 \geq 600$$

であるから、求める n は

$$n = \mathbf{29} \quad (\text{答})$$



会員番号	
------	--

氏名	
----	--